

日独楽友協会

クルト・レーデル指揮コンクール

・年齢制限、書類審査無し

・優勝賞金50万円

・副賞ヨーロッパまでの往復航空券

・ヨーロッパのオーケストラを指揮しての演奏会出演

6)1次審査の方法と結果の発表

1次審査は指揮の基本テクニックを満たしているかどうかを判断するために行う。したがって、演奏そのもののレベルは審査項目に入れない。但し演奏している作品が判断できないほどの場合はこの限りではない。また、審査の基準としては「音楽的に演奏できているかどうか」よりも「曲の始まりと、1拍目がどこなのが明確に見て取れるか」の方を重視する。

1次審査はビデオのみで行い、結果は2011年4月11日までに郵送、または電子メールで行う。合格者、選外となった者のいずれにも結果を連絡する。但し、結果は本人の合否のみとし、他の指揮者の選考結果についての問い合わせには応じられない。したがって審査の結果通知は郵送、電子メールのいずれを希望する場合も応募時に連絡した物以外には連絡できない。また、電話等での問い合わせには応じられない。

1次審査の合格者は2次審査にすすむ。上記の2)と3)の条件を満たしていない場合は失格とする。

2次審査に進めるのは応募総数により10名から20名の範囲とする。

応募者が5名に満たない場合、コンクールの開催を取りやめる場合がある。

コンクールの開催を取りやめた場合は2011年2月28日以降に発表し、審査料は応募者に返金する。

7)2次審査

2次審査は2011年5月7日、8日に行う。審査は公開しない。1次審査に合格した者は上記両日のうち指定された時間、会場で約30分アンサンブル(5名から13名程度)を指揮して2次審査を受ける。審査の日時は1次審査の合格者に個別に連絡する。審査の日時及び会場を応募者の都合により変更することはできない。

8)2次審査の課題曲

2次審査の課題曲は1次審査の合格者に個別に連絡する。課題曲は1750年以降1950年までに作曲された作品から指定する。各自の課題曲は異なる場合がある。2次審査の課題曲は比較的演奏されるのが希な曲で、応募者にはタイトルを知らせずにスコアだけを送付する場合もある。

9)2次審査の方法と結果の発表

各指揮者は指定された曲の部分(5分程度、1?2曲)を約20分練習し、その後にアンサンブルを指揮して演奏する。また、当日指定した作品をその場で指揮して演奏する場合がある。2次審査はリハーサル、及び演奏者とのコミュニケーションの能力に重点を置いて行う。また、課題となった作品を正しく理解しているかどうか判断の基準となる。演奏者は原則として当日渡したパート譜で演奏する。楽譜に誤植等があれば指摘して訂正しながら演奏しなくてはならない。

2次審査の結果は2011年5月11日までに郵送、または電子メールで行う。合格者、選外となった者のいずれにも結果を連絡する。但し、結果は本人の合否のみとし、他の指揮者の選考結果についての問い合わせには応じられない。したがって審査の結果通知は郵送、電子メールのいずれを希望する場合も応募時に連絡した物以外には連絡できない。また、電話等での問い合わせには応じられない。

2次審査の合格者は3次審査にすすむ。3次審査(本選)に進めるのは3名から6名。

10)3次審査(本選)

3次審査は2011年8月1日?3日 さいたま芸術劇場で行う。3次審査は一般に公開して行う。審査の日程については2011年5月11日以降に発表する。

2次審査に合格した者は8月1日、2日に各約45分室内オーケストラ(15名から20名程度)とリハーサルを行い、8月3日に公開演奏を行う。日程は2次審査の合格者に個別に連絡する。審査の日時及び会場は変更できない。

11)3次審査の課題曲

3次審査の課題曲は2次審査の合格者に個別に連絡する。課題曲は1750年以降1950年までに作曲された作品から3?5曲を選び、うち1?2曲を当日指定する。

12)3次審査の方法と結果の発表

3次審査では音楽性や指揮の見やすさの他、審査員だけでなく演奏者の意見も取り入れて審査を行う。3次審査の入選基準は、プロの指揮者として活躍するのに十分な音楽性、コミュニケーション能力、効率的な練習能力などである。

3次審査の結果は公開演奏の終了後1時間程度で発表する。

審査の様子はYouTubeなどで公開する場合がある。

13)表彰

1位から3位の入賞者は2011年8月末から9月はじめにヨーロッパで行われる演奏会で30分程度の作品を指揮できる。(受賞者には演奏会出演義務がある。演奏会に出演できない者は失格とする)。

1位入賞者には優勝賞金として50万円、副賞としてヨーロッパまでの往復航空券を授与する。

2位入賞者には賞金として10万円、副賞としてヨーロッパまでの往復航空券を授与する。

3位入賞者には賞金として5万円、副賞としてヨーロッパまでの往復航空券を授与する。

表彰は該当者がいない場合行わない。

14)審査員

クルト・レーデル(指揮者)

シメオン・ピロンコフ(指揮者、ウィーン国立音大準教授)

ギオラ・バーンスタイン(指揮者、元ボストン交響楽団コンサートマスター)

杉山直樹(指揮者)

ここの審査員が審査のどの過程に参加するかは公表しないが、クルト・レーデルはビデオ審査のみ行う。

ヨーロッパで行われる演奏会、演奏するオーケストラの詳細は、2011年2月28日以降発表する。

日独楽友協会

330-0042 さいたま市浦和区木崎3-3-16

e-mail: info@nichidoku.net

http://www.nichidoku.net

2011年 8月1日 ~ 8月3日